

自治会まちづくりミーティング（要旨）

1. 自治会等の名称 川島自治会連合会
2. 日 時 令和元年 6 月 27 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分
3. 場 所 川島市民サービスセンター
4. 出 席 者 自治会長 23 名、 市長・都市建設部次長兼道路課長

〈内容〉

○連合会長あいさつ

○市長あいさつ

○テーマ概要

テーマ①：坂道の幅員拡張及び通学路の安全確保

テーマ②：唯一の公共交通機関であるバス利用促進

テーマ③：輪中の周りに遊歩道の設置

○提言による懇談

テーマ①：坂道の幅員拡張及び通学路の安全確保

〈松倉町自治会連合会長〉

川島地区は、愛知県との県境にあり、県道一宮線の「川島大橋」から「河田橋」を通る道路、「平成川島大橋」を通り、「渡橋」を通る道路、また、平成 25 年に完成した「各務原大橋」を通り、「思いやり橋」を通る 3 つのルートがあり、通過交通の量が非常に多くなっています。

今後の川島地区における道路行政の取り組みと、円滑化した交通網についての全体的な計画をお聞かせください。また、交通量の増加に伴い、児童生徒の安全対策をお聞かせください。

北派川に上る坂道は幅員が狭く、対面通行ができない場所であるため、交通トラブルが発生しています。また、通学路として多くの児童生徒が利用する歩道で、車の交量が多いにもかかわらず歩道が狭かったり、歩道がない場所があるため、児童生徒の安全確保が必要です。そのため、今回 5 つの提言をします。

①北派川に上る坂道に、片方に拡幅はできないか。

②橋の歩道部分が狭く登下校時の児童生徒が危険なため、拡幅できないか。

③中学校南東部角の歩道が狭く児童生徒の渋滞が発生するため、待場を拡充できないか。

④交通量が多く大型車両も通るが歩道が設置されていないため、側線を引き直し、グリーンベルトを設置できないか。

⑤河田橋へ通る道路の幅員が狭く歩道が設置されていないため、グリーンベルトを設置できないか。

〈市長〉

川島地区における道路行政の取り組みにつきましては、各務原市総合計画で掲げる 9 つある基本目標のうち 1 つ、「便利で快適に暮らせるまち」を掲げ、「市内を円滑に移動できるよう市内幹線道路の整備を計画的に進めるとともに、市民が安全で快適に通行できるよう歩行者や自転車に

配慮した道路整備に取り組む」としております。

川島地区におきましては、県道松原芋島線から各務原大橋に向かう市道川 1 号線について、歩道付きの 2 車線道路を整備する計画があり、今年度には一部区間で工事に着手します。川島地区は、橋を起点とした南北の幹線道路に加え、それらを繋ぐ東西の幹線道路を整備することで、通過車両は抑制され、歩行者等の安全性も向上します。「便利で快適に暮らせるまち」を推進するため、引き続き都市基盤の整備に努めてまいります。

次に、通学路の児童生徒の安全対策につきましては、平成 26 年度に策定した「各務原市通学路交通安全プログラム」に基づき、道路管理者・警察・自治会・学校関係者など関係機関と連携を図り、毎年通学路の合同点検を実施し、その点検結果や自治会要望などを基に、横断歩道の待ち場整備や路肩のカラー化、注意喚起看板の設置などを実施しております。

通学路として利用している県道一宮線各務原線は、一部を除き大半が歩道のない 1 号線と同様の整備は困難な状況であります。このことを踏まえ、ご提案いただきました 5 件について順にお答えさせていただきます。

①坂道の幅員拡幅（県道一宮線各務原線）につきましては、川島地内の県道一宮線各務原線のうち、北派川に通じる坂道部分のみ車両のすれ違いが出来ない幅員となっておりますが、滞留場を設けることにより、車両同士が譲り合いのトラブルや事故が軽減すると思われるますので、設置については道路管理者である岐阜県に要望してまいります。

②橋に歩行者専用通路を設置（県道一宮線各務原線）につきましては、橋部分の道路幅員が狭く、横断歩道の待ち場として利用している路肩も狭いことから、歩行者用通路の設置について、道路管理者である岐阜県に要望してまいります。

③中学校南東交差点の待機場拡充につきましては、通学路の安全確保の観点から、待機場の設置について、学校とも協議をしながら、今年度中に実施するよう進めてまいります。

④グリーンベルトの設置（市道川 1 号線）につきましては、県道一宮線各務原線と市道川 1 号交差点の東側歩道について、2 件の建物があり一部未整備となっておりますが、そのうち東側の建物が所有者により取り壊されることとなる見込みです。残り約 17mにつきまして、グリーンベルトを設置いたします。

⑤グリーンベルトの設置（県道一宮線各務原線）につきましては、路肩を緑色に着色し、ドライバーに視覚的に通学路であることを認識させることは、歩道設置が物理的に難しい道路においては有効な手段と思われます。したがって、グリーンベルトが設置されるよう、道路管理者である岐阜県に強く要望してまいります。

今回ご提案のあった通学路に関する案件については、「各務原市通学路交通安全プログラム」と連動して岐阜県に対し働き掛けるべきと考えます。今後も、県など関係機関と連携を図りながら、ひとつでも多くご要望にお応えできるよう、安全性の向上に努めてまいります。

テーマ②：唯一の公共交通機関であるバス利用促進

〈松倉町東 4 自治会長〉

川島地区においても、今後益々高齢化が進むことが予想されます。公共交通機関であるバスの利便性を良くすることで、高齢者等の方が外出し易い環境にするため提言します。

川島地区には、鉄道の駅が無く、公共交通機関はバスに限られています。しかし本数が少なく、

最終便の時刻も早いため、仕事で遅くなる時などは非常に不便です。また、高齢者による交通事故等が増える中、今後、免許証を返納される方が多くなることも予想されます。バスを利用することで各務原市内又は、近隣市町村での買い物や通院が便利になると考えられます。

〈市長〉

川島地区の公共交通につきましては、松倉公民館前から、一宮市民病院を經由し、名鉄一宮駅まで行く名鉄バス路線があり、平日は 34 便、休日は 28 便運行されており、黒字路線で多くの市民の方にご利用いただいています。

川島松倉から、笠松町、岐南町を經由し、JR 岐阜駅まで行く岐阜バス路線につきましては、平日は 11 便、週末は 7 便運行されています。主に岐阜方面の通勤や通学の足として利用されています。この路線については、大幅な赤字路線となっており、各務原市をはじめ関係自治体が補助（岐南町・笠松町・岐阜市）を出してなんとか路線を確保している状況です。それでもなお多額の赤字が発生している状況となっており、引き続き路線が維持されるよう、今後もバス会社や関係市町にはたらきかけてまいりたいと思います。

また、生活交通をカバーする目的として、市がふれあいバス川島線を運行していますが、平成 27 年 10 月にリニューアルし、以後、毎年乗降調査を行い、各地域でふれあいバス懇談会を重ねてまいりました。

川島線については夕方の本数を増やしほしいという強い要望をいただいていたのですが、今年の秋（10 月 1 日より）にダイヤ改正を行い、川島線の夕方の便を増便することといたしました。（新那加駅北口を 17 時 50 分に出発し、イオンモール各務原、川島地区を經由し、各務原市役所前駅まで向かう 5 便を増便する。）

利用促進の一環として「運転免許証自主返納事業」をおこなっています。これは、バスや電車などの公共交通機関を利用してもらうきっかけとしていただくために、運転免許証を自主返納された方から申請があった場合には、全員に 2,500 円分がチャージされた交通系の IC カードをお渡ししています。

今年度も 7 月から 8 月にかけて市内 12 会場でふれあいバス懇談会を行います。川島地区は、8 月 27 日（火）13 時 00 分から、川島ライフデザインセンターで開催する予定です。

現在のふれあいバス・タクシー路線が完成形ではありません。今後も利用者の声や、利用したことがない方からの「こうなったら使いたい」という意見をできる限り反映していきながら、高齢者の方が外出しやすい、若い世代にも使ってみようという環境をつくっていきたいと思います。

参考までに、市の高齢福祉課の方で、「住民主体の地域の高齢者等移動支援事業」を実施しています。実施内容は、鉄道、ふれあいバス等の既存の公共交通機関ではカバーしきれず、地域の高齢者の移動手段が乏しく、移動ニーズが高い地域を対象として、自治会等が主体となり地域の移動ニーズを集約し、介護予防教室等への定期的な交通手段を確保する取り組みについて自治会等が負担した経費の一部を補助します。（自治会等が負担した経費の 2/3 補助上限 30 万円）

例えば、介護予防教室を実施する福祉センターを經由して病院やスーパーや駅への定期運行について、自治会とタクシー会社が契約する場合等です。

今年度は、「須衛区自治会（介護予防教室から病院とスーパー）」、「丸子町自治会（介護予防教室から病院とスーパー）」、「尾崎地区社協（介護予防に資する活動を実施しているボランティアハウス）」が本事業を実施しています。

今後、免許返納等が進み交通弱者が増えることが予想されることから、介護予防教室への足を確保しつつ、外出支援、生活支援にも資するような取り組みを地域が主体となり実施できるよう本制度の普及啓発を図ってまいります。

また、各自治会長宛に来年度の制度の利用についての意向調査を実施しますので、ご検討される場合は、高齢福祉課までご連絡ください。

テーマ③：輪中の周りに遊歩道の設置

〈松倉町西 1 自治会長〉

歩行者や自転車の安全を確保し、川島を一周できる遊歩道を造ることを提言します。各務原大橋、小網町の思いやり橋が整備され、大型車（トラック等）が堤防道路を通ることが増えてきました。また、堤防を歩く時や自転車で走る時には、非常に危険を感じています。朝夕には高校生も通ります。川島地区の特徴（輪中）を活かして、築堤の下段に遊歩道を造ることで歩行者や自転車利用する人の安全が確保されます。

また、市民の憩いの場・健康増進を図ることもできます。

〈道路課長〉

木曾川河川敷は河川環境楽園からライン大橋まで国営木曾三川公園各務原緑地として都市計画決定されております。平成 24 年度までに、河川環境楽園から各務原大橋交流広場までの区間について、サイクリングコースを国と市で整備を実施し、愛知県側の整備済み区間と合わせ、川島地区を周遊することが可能となっております。しかし、愛知県側と比較して、サイクリングロードの利用率が高いとはいえない状況で、川島地区では、一部堤防がない箇所や堤防の下段まで浸水する箇所があるなど、遊歩道の整備は困難な状況となっております。

今後は、各務原都市計画マスタープランに基づき、市民の健康を支える都市づくりを目標に掲げ、歴史・文化の継承など他の施策と連携し、歩行者や自転車の交通環境の質を高め、「歩いて巡ることが楽しいまち」を目指してまいります。

また、平成 26 年には、国、県、近隣市町と「木曾川自転車道整備運営連絡会」を立ち上げ、木曾川河川敷を利用した歩行者や、自転車の広域ネットワークの形成をめざすとともに、その整備・運営・監理のいっそうの充実を図ってまいります。

今後の木曾川沿いの遊歩道整備については、こうした連絡会等を通じ、国や県、近隣市町と連携を図るとともに、地域の皆様のご意見を伺いながら検討してまいります。

〈小網町自治会連合会長〉

各務原大橋が出来たことにより、急に交通量が増えて戸惑っている方がいます。そこで道路の安全面で、横断歩道が足りないと思います。

〈道路課長〉

川島地区は道路が広くないにもかかわらず、道路際まで家・倉庫が建っている状況の中、道路拡幅をしようとすると土地所有者の方から土地を提供していただかなければならず、大変費用も掛かりますので、道路拡幅は難しいかと思えます。そのうえで、安全対策としては何ができるのかですが、例えば横断歩道の設置については、公安委員会の設置条件に、両側に歩道がないといけないとか、安全な待場を確保しなければならないといった条件があります。しかし、そのよ

うな場所がない場合はどうしたらよいのか。例えば、交差点にカラー舗装をしたり、あるいは、路面標示をしたり「交差点注意」の路面標示をしたり。後は、電信柱に注意喚起看板の設置をしています。或いは、路肩を広くすることで車道幅を狭く見せることでスピード抑制を図っているところもあります。抜本的な解決方法はないのですが、その土地柄にあった工夫することで安全対策をしています。

防犯灯の設置については、電気代は自治会負担ですが、設置については市が責任を持って設置しています。カーブミラーの設置についても要望書を提出していただければ市が設置します。

〈笠田町自治会連合会長〉

笠田町は交通の便が非常に悪く、中を廻るバスも現状に合っていません。例えば、一宮から来るバスが、一宮タワーのスポーツセンターで終わっている。そこで、渡町から川島の中を通り河川環境楽園経由で通っていただければ、川島から名古屋に向かうことができる。集客力のある河川環境楽園を上手く名鉄バス・岐阜バスを繋ぐことができれば、笠松町、一宮市、江南市へ行くことができれば、市民は利用すると思います。

〈商工振興課長〉

川島地区には、名鉄バスが乗り入っていますが、光明寺線まで自転車で行かれる方がおみえになることは聞いています。今までご要望が大きく頂いていなかったこともあり、今後は名鉄バスとの協議のなかで要望していきます。

笠松駅については、ルート上で「東米野」バス停で、乗り換え出来るようにしますが、直接、笠松駅まで、ふれあいバスの運行は考えていません。ダイヤを調整し乗車していただけるように、今後、名鉄バスに要望します。

〈松原町自治会連合会長〉

防災対策の強化として、川島地区の震災時に水と電気のインフラを整備し、対応できるようにしてほしい。

〈市長〉

市役所の新庁舎では、しっかりと体制を整えています。岐阜市や大垣市の新庁舎は、発電機で約3日間対応できますが、各務原市の新庁舎では1週間対応できる装置を設置します。

なお、川島地区の水源については、既に対策を講じておりますが、電気については、防災対策課と中部電力で協議しながら進めてまいります。

○行政の説明

・ひとの活躍・まちの活気

しあわせ実感かかみがはら

○連合会長まとめのことば

○市長まとめのことば